



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 保土ヶ谷区常盤台複合施設計画 A敷地	階数	地上2F
建設地	横浜市保土ヶ谷区常盤台129番1他	構造	S造
用途地域	第1種中高層住専地域、第1種住居、準防火地域	平均居住人員	114 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、病院、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 竣工	評価の実施日	2021年9月6日
敷地面積	5,789 m <sup>2</sup>	作成者	(株)シーク設計
建築面積	3,401 m <sup>2</sup>	確認日	2021年9月6日
延床面積	6,015 m <sup>2</sup>	確認者	(株)シーク設計

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.5** ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%  
②建築物の取組み: 85%  
③上記+②以外の: 85%  
④上記+: 85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.6  
Q2 サービス性能: 2.6  
Q3 室外環境(敷地内): 1.7  
LR1 エネルギー: 2.8  
LR2 資源・マテリアル: 2.3  
LR3 敷地外環境: 2.7

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 2.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
保土ヶ谷常盤台という横浜新道に隣接し、横浜国大の敷地の南斜面の活用である。また風致地区第4種地域に立地している。地域に密着した物販店舗および診療所を主要用途構成とし、周辺に提供するサービス提供、風致に適合する設計とした。	特段の配慮は施していない。	
<b>Q1 室内環境</b> 用途の特性、店舗および診療所ということもあり、標準を目指している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用性を配慮した設備設計を施している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数10%以上20%未満
<b>LR1 エネルギー</b> 特段の配慮は施していない。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特段の配慮は施していない。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が85%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 保土ヶ谷区常盤台複合施設計画  
A敷地

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 19 %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	対象外

受付日 2021年9月13日

##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI<sub>m</sub>0.99

③BEI<sub>m</sub>0.81

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

##### ■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

##### ■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

給水VP(B)、汚水・雑排水VP(B)、Eは不使用

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
保土ヶ谷区常盤台複合施設計画 A敷地

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-	2.3		
Q1 室内環境					0.36			2.6		
1 音環境				2.6	0.15	-	-	2.6		
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-		
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	-		
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.75	-	-	-		
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.25	-	-	-		
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	-	-	-		
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	-	-	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	-		
2 温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0		
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	-		
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.43	-	-	-		
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心		⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.21	-	-	-		
2.1.3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.36	-	-	-		
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.20	-	-	-		
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-		
3 光・視環境				2.4	0.25	-	-	2.4		
3.1 昼光利用				2.3	0.39	-	-	-		
3.1.1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.32	-	-	-		
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-		
3.1.3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.68	-	-	-		
3.2 グレア対策				1.0	0.16	-	-	-		
3.2.1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	1.00	-	-	-		
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.08	-	-	-		
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.37	-	-	-		
4 空気質環境				2.6	0.25	-	-	2.6		
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-	-		
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-	-		
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.44	-	-	-		
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.12	-	-	-		
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.44	-	-	-		
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-	-		
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	1.0	0.41	-	-	-		
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	1.0	0.59	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.6		
1 機能性				1.9	0.40	-	-	1.9		
1.1 機能性・使いやすさ				1.2	0.40	-	-	-		
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.12	-	-	-		
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.12	-	-	-		
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.77	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.8	0.30	-	-	-		
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.27	-	-	-		
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.27	-	-	-		
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.46	-	-	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-		
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-		
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8		
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-		
2.1.1 耐震性	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-		
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-		
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性				1.4	0.20	-	-	-		
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-		
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-		
2.4.3 電気設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-		
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-		
3 対応性・更新性				3.3	0.30	-	-	3.3		
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	-		
3.1.1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-		
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 設備の更新性				2.6	0.40	-	-	-		
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
3.3.5 設備機器の更新性				1.0	0.20	-	-	-		
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-		

# CASBEE<sup>®</sup> 横浜 | 評価結果 | 3-066



CASBEE横浜2017年版v.1.4  
保土ヶ谷区常盤台複合施設計画 A敷地

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.34	-	-	-	1.7	
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり		⑳地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ		⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	-	2.6	
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	-	2.8	
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	2.3	0.20	-	-	-	2.3	
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの効率化	省エネルギー性能		③設備システムの効率化	2.9	0.50	-	-	-	2.9	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	-	2.3	
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	-	2.2	
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	
1.2.2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	-	2.4	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.5	0.20	-	-	-	2.5	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				2.3	0.70	-	-	-	-	
3.2.1 消火剤				1.0	0.33	-	-	-	-	
3.2.2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2.3 冷媒				3.0	0.33	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	-	2.7	
1 地球温暖化への配慮				3.5	0.33	-	-	-	3.5	
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	-	2.4	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-	-	
2.3.1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3.3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33	-	-	-	2.4	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
3.1.1 騒音				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.1.2 振動				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.1.3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				2.3	0.40	-	-	-	-	
3.2.1 風害の抑制				2.0	0.70	-	-	-	-	
3.2.2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-	-	
3.2.3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				1.6	0.20	-	-	-	-	
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70	-	-	-	-	
3.3.2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	
<b>上記以外の重点項目</b>										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策	健康・安心		⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画	健康・安心		⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策	健康・安心		⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心		⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	